

学校だより

はせやまの風

舞鶴市立新舞鶴小学校

平成29年9月29日発行
学校教育目標

自ら学び たくましく 心豊かな 児童の育成



URL <http://www.shinmaizuru.maizuru.ed.jp>

子どもの自己変革を支える

今夏は猛暑日が続いたので、残暑もさぞ厳しいだろうと覚悟していたのですが、あにはからんや、9月に入ってから、さわやかな秋風が心地よく快適な日が続いています。

運動会が近づき、練習が本格化してきました。体育館からは、よさこいやソーラン節などの音楽にかけ声も聞こえてきます。また、6年生のリーダーを中心に応援やなかよし班種目が形を成しつつあり、休み時間には、打合せに忙しく駆け回る姿が見られたり、応援団の勇ましい声が聞こえてきたりしています。今年の児童会テーマは、「やる気・勇気・元気」の力で光かがやけ！運動会！。今から本番が楽しみです。地域や保護者の皆様、10月15日の運動会には、競技や演技で子どもたち一人一人が輝く姿を、また、高学年が準備や運営で活躍する姿をぜひご覧にお越しください。

さて、運動会練習の合間を縫うように、先日、後期児童会本部役員選挙が行われ、6名の候補者が、公約について堂々たる演説を披露しました。会場の4年生から6年生が聴き入る態度もすばらしく、立派な立会演説会でした。後の質問に「僕たちにもどんなことができますか」というのがあり、自分たちも児童会の一員なんだという意識がうかがえました。これを運動会の成功につなげてほしいと思います。

始業式で「昨日の自分より今日の自分を良くする」という話をしました。2学期も1か月が経ち、果たして子どもたちは自己変革をどこまで意識しているでしょう。これから、運動会を皮切りに大きな行事が続きます。行事は、目指すところがはっきりしているので変革のチャンスでもあります。子どもたちのささいな変化を見逃すことのないよう、アンテナを張っていきたいと思います。がんばっているときに「がんばっているね、良くなったね」とほめてもらうことがやる気につながります。惜しみないほめ言葉のシャワーを浴びることで、自尊心が高まります。そのことが「自分は変わってきたぞ」という自覚につながり、「自分はやればできる」という自信になります。これから充実した10月とするために、子どもたちの意欲を引き出し力を付けるよう精一杯指導に努めます。ご家庭でも、ぜひ、ほめる場面を設け、学校と共に子どもたちの自己変革を支えていただきますようお願いいたします。

校長 立山 美都子



学校版EMS (環境マネジメントシステム) 取組中

2学期から、学校版EMSに取り組んでいます。これは、低炭素社会や循環型社会の実現、自然環境の保全等を目指した第2期舞鶴市環境基本計画に基づき、学校でも環境改善を図るものです。もちろん、以前より学年に応じた環境教育を実施していますが、日々の生活においてさらなる意識付けを図ります。具体的には、使っていない教室の電気を消す、歯磨きの時に水を出しっぱなしにしない、給食を残さないなど、電気や水の使用量を減らすことやごみを減らすことに取り組めます。高学年の理科や社会科の学習、ボランティア委員会の取組とも関連付けていきます。各ご家庭でも、ぜひ、環境改善を話題にさせていただき、子どもたちの環境問題への関心を高めさせていただきますようお願いいたします。

